

情報を見極める。ヘルスリテラシーを高めよう。

ヘルスリテラシーとは

ヘルスリテラシーとは、「健康情報入手し、理解し、評価し、活用するための知識、意欲、能力であり、それによって、日常生活におけるヘルスケア、疾病予防、ヘルスプロモーションについて判断したり意思決定をしたりして、生涯を通じて生活の質を維持・向上させることができるもの」です。特にインターネットが普及し、いろいろな健康や医療に関する情報が世の中にあふれていますが、情報入手して、理解して、その情報が正しいか、そして自分に必要かを評価して、行動する力です。女性の健康は特にヘルスリテラシーが必要だと感じます。



世界から遅れる

日本の子宮頸がん事情

子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）の副反応の報道を見たことがある方も多いかと思えます。HPVワクチンは2013年4月に日本で定期接種となりましたが、副反応の報道により、同年6月に厚生労働省が積極的勧奨の中止となりました。その後、HPVワクチンを接種した群と接種していない群で副反応の発現を比較した研究が国内で行われましたが、接種していても発現率は増えないという結果でした。世界では135カ国以上で認可され、82カ国では公費で助成されています。こうした状況から日本産婦人科学会などの医学会からも接種勧奨再開の予防が提出されていますが、まだ再開されていません。

子宮頸がんは防げるがん

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）に感染し、その感染が持続することでかかることがほとんどです。この感染は性交渉によって起こり、多くは自然にウイルスが排除されますが、ずっと感染していることでがんになります。なので、性交渉を最近していなくても、一度でもしたことがあればかかる可能性があります。

この感染を防ぐのがHPVワクチンです。HPVワクチンを性交渉前に接種していると、感染が防げます。現在日本では2価と4価と呼ばれるワクチンが承認されており、海外では既に9価のワクチンが標準です。

防げるはずなのに防げない。現在の日本では年間1万人がかかり、3,000人弱がなくなっています。がんにかかるピークは25歳～44歳の若い女性で、子育ての年齢と重なるので、マザーキラーとよばれています。

接種できるクリニック

厚生労働省が積極的勧奨を中止してしまうと、受けようと思っても、「ほんとうに受けるんですか？」と聞かれたりして、接種しにくいことがあるようです。必要と思った、話を聞いてみようと思った女性が迷子にならないように、接種できるクリニックリストが作成されています。もちろん対馬ルリ子女性ライフクリニックでも接種可能ですよ。まずはご相談くださいね。

クリニックリストはこちら↓

<http://cnet.gr.jp/hospitalist/>

参考：日本産婦人科学会作成「子宮頸がん HPV ワクチンに関する最新の知識と正しい理解のために」

http://www.jsog.or.jp/uploads/files/jsogpolicy/HPV_Q%26A.pdf

健康を決める力：<http://www.healthliteracy.jp/>

クリニックからのお知らせ

9価ワクチンの接種始めました

対馬ルリ子女性ライフクリニックでは、海外でスタンダードの子宮頸がん予防ワクチン（ガーダシル9）の接種をはじめました。日本以外の先進国では、ほぼ90%以上の女の子、50ヶ国では男の子も接種しています。6ヶ月or1年間隔で2回接種（初診料3,000円＋1回35,000円）45歳までの男女に推奨されています。

女性では子宮頸がん予防（9割減）男性では中咽頭がんや肛門がん、陰茎がんの予防が期待されます。

お問い合わせ、ご予約お待ちしております。

7/15(祝)休日検診します！

対馬ルリ子女性ライフクリニックでは、平日忙しくてなかなか受診できない女性のために、7/15(祝)海の日に休日検診をいたします。ご予約お待ちしております。

新規取り扱い

セルフケアグッズのご紹介

納豆キナーゼ
90粒(30日分) 4,298円(税込)
納豆に含まれる特有の酵素「ナットウキナーゼ」。血栓を溶かして末梢血流を改善することが論文で報告されています。無臭ですので安心してお飲みいただけます。



お買い求めはクリニックへ。一部セルフケアグッズはオンラインショップからも購入いただけます！
<https://w-wellness.jp/>

ニュースレターはメールでも配信します。メールアドレスの登録はこちらから→
<https://55auto.biz/womens-wellness/touroku/sp/entryform2.htm>